

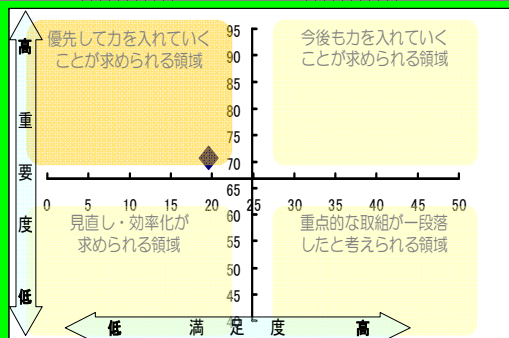
施策カルテ

1 施策の位置付け

担当課 高齢福祉課

総合計画 政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	高齢期の生活を充実する	取組の 基本方向	「高齢期の生活を充実する」ため、健康の維持や介護予防の推進による「高齢者の自立促進」、生涯にわたり社会の中で活躍できる機会の充実を図るための「高齢者の生きがいつくりの充実」、住み慣れた地域での自立した生活を支援するための「介護保険事業の充実」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	高齢者が自らの介護予防に積極的に取り組み、住み慣れた地域の中で生きがいをもって、充実した生活を送っています。
--------------	---------------------------	----------------	-------------	-------------	--	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	高齢者の生きがいつくりの充実		④施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)					
				H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標						
	②施策目標			高齢者一人ひとりが尊厳を持ち、元気に生き生きと暮らしています。		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	-----				
	③施策を取巻く環境			<p>国・県等の動向</p> <p>団塊の世代が高齢期を迎え、平成25年には4人に1人が65歳以上の高齢者という社会の到来が予測されているなかで、県においては平成21年3月「高齢者支援計画(はつらつプラン21)」を策定し、各種施策を推進している。</p> <p>外部意見 その他</p> <p>平成20年度に開催した社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会において、団塊・シニア世代の生きがいつくりへの積極的な取組の必要性が指摘された。</p>		指標① (総合計画に基づく指標)	みやシニア活動センター利用者数 ※シニアボランティア養成研修受講者数を見直し		-----	400	500	540	560	580	82.8%
				指標②			-----	435	480			-----			
				指標③			-----					-----			
				指標④ (特記事項)			-----					-----			
⑤市民意識調査結果	市民の 施策満足度	19.6%	市民の 施策重要度	70.6%	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	みやシニア活動センターにおいて様々な事業を実施し、目標値に近い市民の利用があった。		⑦現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点	みやシニア活動センター事業により、シニア世代の地域活動等への参加を促すことができた。 高齢者外出支援事業により、高齢者の公共交通による外出機会を確保することができた。	
					必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している	説明	豊富な知識や経験を持った団塊世代が定年退職を迎え、本市の進めるまちづくりや地域福祉の展開に活躍できるしくみづくりが求められている。			改善の必要な点	市単独事業において、ニーズを把握しながら、施策目標を達成できるよう事業内容を見直す必要がある。	
					適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	みやシニア活動センター事業や高齢者外出支援事業等の高齢者の生きがいつくりに取り組み、目標値は下回ったものの多くの市民の利用があり、適切に実施している。					
					有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	やや不十分である	不十分である	説明	市民満足度が昨年度の15.2%から今年度は19.6%に上昇していることから、事業が効果を上げている。					

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	高齢化が進行するなか、健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる社会を目指す。	⑨政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会が進行するなか、高齢者が生涯にわたり生きがいを持ち、社会で活躍できるような機会の充実を図る必要がある。 ・現在取り組んでいる事業について、市民ニーズを把握しながら事業内容を検討する必要がある。 ・みやシニア活動センター事業や高齢者外出支援事業に着実に取り組み、高齢者の生きがいつくりを支援する。 ・「長寿祝記念品贈呈事業」について、市民ニーズを把握しながら、事業内容の見直しを検討する。
	重点事業	団塊世代を中心とするシニア世代の知識や経験を本市の進めるまちづくりや、地域福祉の展開に積極的に活かすとともに、第2の人生を健康でいきいきと暮らすことができるよう支援する。		
	見直し事業	長寿祝記念品贈呈事業において、ニーズを把握しながら、施策目標を達成できるよう事業内容を見直す。		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	みやシニア活動センター事業 担当課 高齢福祉課	団塊世代を中心とするシニア世代	H20	利用者数(人)	400	500	7,853	4,502	A	継続	出張相談窓口の開設等の魅力ある企画事業を立案・実施する。また、利用者や市民へのアンケートを実施し、シニア世代のボランティア等の社会参加意欲を高めるための新規事業を検討する。
					435	480					
2	高齢者外出支援事業 担当課 高齢福祉課	70歳以上の高齢者	H15	助成券交付者数(人)	17,500	18,200	46,019	47,235	A	拡大	外出支援事業の選択肢にのぞみ号を追加するとともに、公共交通不便地域における高齢者の外出支援策を検討する。
					16,926	14,874					
3	高齢者地域活動実践塾の設置 担当課 高齢福祉課	60歳以上の高齢者	H14	実践塾設置箇所(カ所)	4	4	30	87	B	継続	事業内容の周知に努め、より一層実践塾の設置を促進する。
					1	3					
4	シルバー人材センター運営費補助金 担当課 高齢福祉課	(市)宇都宮市シルバー人材センター	S55	受託契約額(千円)	680,000	752,900	62,835	46,767	B	継続	経済状況が悪化しているなか、受託契約額が目標を下回っていることから、契約額の増加を目指し、センターを指導・支援する。
					579,509	537,071					

様式 2

5	老人クラブ運営費助成事業	財宇都宮市老人クラブ連 合会	S39	老人クラブ数(クラブ)	390	378	26,111	25,582	B	継続	老人クラブ数が目標を下回っていることから、団塊世代をはじめとする新たに高齢者となる者が積極的に参加できるよう、老人クラブ連合会を育成・支援する。
	担当課				高齢福祉課	368					
6	老人クラブ活動費助成事業	単位老人クラブ	S39	老人クラブ数(クラブ)	390	378	18,942	19,940	B	継続	老人クラブ数が目標を下回っていることから、団塊世代をはじめとする新たに高齢者となる者が積極的に参加できるよう、宇都宮市を通じて単位老人クラブに働きかける。
	担当課				高齢福祉課	368					
7	長寿祝記念品贈呈事業	80, 90, 100歳 の高齢者	H10	祝金対象者数(人)	4,173	4,147	61,114	67,294	B	見直し	高齢化が進展する中、市民ニーズを把握しながら、施策目標を達成できるよう事業内容を見直す。
	担当課			高齢福祉課	祝品対象者数(人)	3,993					
8	敬老会開催共催負担金	各地区社会福祉協議会, 75歳以上の高齢者	S57	敬老会招待者数(人)	43,810	46,469	71,363	72,558	B	継続	できるだけ多くの高齢者に参加してもらえるよう、他市の取組状況や関係機関からの意見を収集しながら、敬老会のあり方を検討する。
	担当課				高齢福祉課	43,810					
9	生きがいづくり推進事業派遣事業補助金	ねんりんピックに出場す る本市選手団	H14	選手人数(人)	50	50	287	227	B	継続	他市の取組状況を把握しながら、本市選手の全国大会出場を支援する。
	担当課				高齢福祉課	57					
施 策 事 業 費 合 計							294,554	284,192			